

<b>■ 氏名 (フリガナ)</b> <small>しもにし じゅんこ</small> <b>下西 潤子</b>	職位 和泉短期大学 児童福祉学科 特任教員 (特任講師)
<b>■ 担当科目</b> ・介護実践の基本 ・コミュニケーション技術の基本 ・コミュニケーション技術の応用・終末期の介護 ・こころとからだのしくみ・こころとからだの介護 ・人間の発達と老化・介護過程の基本 ・障がい児・者支援の方法 ・介護総合実習Ⅰ(巡回) ・介護総合実習Ⅱ(巡回)	
<b>■ 専門分野及び関連分野</b> 介護・看護	
<b>■ 最終学歴</b>  文京女子大学大学院 人間学研究科 人間学専攻 修了	
<b>■ 最終学位</b> 人間学 修士	
<b>■ 職歴</b> 石川県 精神薄弱児施設 社会福祉法人 仏子園 神奈川県立 肢体不自由施設 ゆうかり園 社会福祉法人 唐池学園 精神薄弱者授産施設 貴志園 同法人 乳児院 ドルカスベビーホーム 学校法人 クラーク学園 和泉福祉専門学校 非常勤講師 東京都立 立川保育専門学校・足立保育専門学校 非常勤講師 学校法人 クラーク学園 和泉福祉専門学校 専任講師 東海大学 健康科学部 社会福祉学科 専任講師 明治学院大学 社会福祉学科 非常勤講師 学校法人 クラーク学園 和泉短期大学 介護専攻科 非常勤講師 同 和泉短期大学 非常勤講師 東洋大学 ライフデザイン学部 非常勤講師	
<b>■ 所属学会</b> 日本介護福祉教育学会 日本老年行動科学会 日本介護福祉学会 日本難病看護学会 日本社会福祉学会 日本認知症ケア学会	
<b>■ 学生指導</b>	
<b>■ 研究テーマ</b> ・在宅ケアを支えるために求められること ・社会福祉施設でケアを担う人たちのストレス要因と解消法 ・職員研修の効果 II	

■ 社会的活動

- 1. NPO 在宅ケアを支えあう会 理事
- 2. NPO 湘南改造屋 理事
- 3. 社会福祉法人 あさひ 理事

■ 研究業績 (著書・論文等)

【著書】

- 1. リーデングス介護福祉学 (共著) 介護技術 建帛社 2006年6月
- 2. 介護福祉養成テキスト (共著) 生活支援技術 建帛社 2009年3月
- 3. やさしい乳児保育 初版 (共著) 青踏社 2006年4月
- 4. やさしい乳児保育 初版 (共著) // 2007年3月
- 5. やさしい乳児保育 第2版 (共著) // 2008年3月

【論文】

- 1 介護福祉士資格取得卒業生に関する一考 介護福祉教育No. 11 2000年1月
- 2 ALS患者・家族会における実態調査 難病看護学会誌 6号 2001年1月
- 3 神奈川県下の介護福祉士養成校：介護技術担当教員「移動技術に関して」アンケート結果 介護福祉教育No. 18 2004年7月
- 4 ALS患者と家族介護者の介護と療養者の思い 看護技術 2008年5月
- 5 ALS患者のポジティブな生き方 看護技術 2009年2月
- 6 虚弱高齢者の生活体力と認知機能評価に関する研究 東海大学健康学部紀要 2009年3月
- 7 要支援：要介護認定者の機能的体力の検討 学術調査報告 // //
- 8 難病在宅療養者・家族・介護者の支えあいの力 高める要因 日本難病看護学会誌 2009年5月

【報告】

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

## ■ 研究業績 (招待講演)

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

## ■ 研究業績 (学会発表)

1	介護福祉士資格取得卒業生に関する一考	1	(共同研究)	介護福祉教育学会	1999年
2	介護福祉士取得卒業生に関する一考	2	(共同研究)	〃	2000年
3	ALS患者・家族会における実態調査		(共同研究)	日本難病看護学会	2001年
4	ワークショップ：移動技術		(共同研究)	介護福祉教育学会	2003年
5	ALS患者に対するキネステティックの有効性		(共同研究)	日本難病看護学会	2005年